

魅力ある観光地域づくりについて

【担当省庁】文部科学省、文化庁、環境省、国土交通省、観光庁

- 1 「日本遺産」への「天橋立」の認定及び既に認定された「日本茶 800 年の歴史散歩～京都・山城」への資産追加を認めるとともに、「日本遺産魅力発信推進事業」の予算確保と採択をしていただきたい。
- 2 由良川・桂川中流域を国定公園に新規指定するとともに、新国定公園における事業に必要な「自然環境整備交付金」の予算を確保していただきたい。
< 京都府の予定事業 >
原生林芦生の森を中心とした施設整備
ビジターセンターの整備（調査設計） 等
- 3 「海の京都観光圏」の滞在プログラムの提供や戦略的な情報発信などを進めるため、「観光地域ブランド確立支援事業」の予算を確保するとともに、引き続き、京都府の事業を採択していただきたい。
< 京都府の予定事業 >
「海の京都」をコンセプトにした滞在型プログラムの開発 等
- 4 関西広域連合等で取組を進める「美の伝説」事業を推進するため、「広域観光周遊ルート形成促進事業」の予算を確保するとともに、引き続き、本事業を採択していただきたい。
< 連動して実施する京都府の予定事業 >
「広域観光周遊ルート形成促進事業」と連動した海外プロモーション、アジアからの誘客促進事業、教育旅行誘致 等

< 文化庁の概算要求 >

- ・日本遺産魅力発信推進事業 17 億円（27 年度予算額 8 億円）
有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」に認定する仕組みを創設。文化財群を総合的に整備・活用し、世界に戦略的に発信することにより地域を活性化

< 環境省の概算要求 >

- ・自然公園等事業費：97 億円（27 年度予算額 83 億円）

< 観光庁の概算要求 >

- ・観光地域ブランド確立支援事業 3 億円（27 年度予算額 3 億円）
国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを促進するため、認定観光圏を対象に、地域「ブランド」確立を通じた滞在交流型観光の推進に向けた取組を支援

- ・ 広域観光周遊ルート形成促進事業 6 億円（27 年度予算額 3 億円）
 複数の都道府県を跨って、テーマ性等を持った一連の観光地を、交通アクセスも含めてネットワーク化して、外国人旅行者の滞在日数に見合った、訪日を強く動機づける「広域観光周遊ルート」の形成を促進し、海外へ積極的に発信

【現状・課題等】

交流人口の拡大による地方創生の推進、急増する訪日外国人への対応等が必要になる中、京都府では、観光入込客、観光消費額、外国人宿泊者とも京都市内に集中しているため、その効果を他の府域に拡大していくことが課題

平成 26 年観光入込客等

	全 体	左のうち京都市
観 光 入 込 客	8,375 万人	5,564 万人(66.4 %)
観 光 消 費 額	8,139 億円	7,626 億円(93.7 %)
外国人宿泊者数	187 万人	183 万人(98.0 %)

- 1 文化財群を総合的に整備・活用し、世界に戦略的に発信することにより地域を活性化する取組として、天橋立の「日本遺産」への認定や、既に認定された「日本茶 800 年の歴史散歩～京都・山城」についても、構成する文化財を拡大し、取組を継続する予定である。

日本遺産認定に向けて京都府から提案する文化財群

資産群	ストーリー
天橋立 ～日本人の景観への美意識をたどる	<p>紺碧の海に一筋の白い砂浜、連なる松林。天橋立です。白砂青松の代表といわれる天橋立は、4 千年間の自然の造形と人の営みによって作られ、守られ、それを望み見る人々に畏怖の念や感動を生み、この地域への特別な感情が育まれてきた。</p> <p>江戸時代以降は、日本三景と称され、長さ 3.6 Km にわたる白砂の州に、濃い緑の松が連なる天橋立を中心とする箱庭のように美しい景観は、現代の我々にも宗教的感動、文化的感興、眺望への感嘆となって重層的に心に迫る。景観に対する日本人の美意識の変化をたどり、その複合的景観の現在の姿が目の当たりにできる。</p>
日本茶 800 年の歴史散歩～京都・山城	<p><ストーリー></p> <p>京都・山城は、「抹茶」「煎茶」「玉露」を生み出し、「茶の湯」をはじめとする日本の喫茶文化を支え、リードしてきた。また、現在も残る茶畑・茶問屋街・茶工場・茶ゆかりの寺社などから、その文化を目にし、迎えることのできる唯一の地であり、まさに「日本茶のふるさと」である。</p> <p><文化財の追加></p> <p>はしでらほうじょういん みむろど あがた いわしみず 橋寺放生院・三室戸寺・縣神社(宇治市)石清水八幡宮(八幡市)、300 年の古茶木(久御山町)多賀の「森の茶園」(井手町)、笠置有市の茶畑・索道跡(和束町)、稲八妻医師茶園(精華町)</p>

2 京都府では、「由良川・桂川上中流域」について、国定公園への指定を申請している。

指定を契機に、奥深い森や里山を活かした「森の京都」づくりにより中部地域の活性化、環境保全と両立するエコ観光の拠点として活用する予定である。

申請地域

丹波高地を含む「由良川・桂川上中流域」の国定公園指定

約 7 万² (京都市左京区、右京区、綾部市、南丹市、京丹波町の一部)

3 「海の京都観光圏」については、平成 26 年 7 月に観光圏の認定を受けており、平成 28 年度も引き続きブランドの維持・向上に向けて取り組む予定である。

海の京都観光圏 天地山海にいきづく和の源流

【観光圏の区域】京都市福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝郡伊根町、与謝郡与謝野町

【観光圏整備計画の期間】平成 26 年 4 月 1 日 - 平成 31 年 3 月 31 日

【主たる滞在促進地区】天橋立滞在促進地区、夕日ヶ浦滞在促進地区

【数値目標の設定(平成 25 年度? 30 年度: 主たる滞在促進地区)】

(天橋立滞在促進地区) 来訪者満足度: 10% 増、来訪者旅行消費額: 470,000 万円? 564,000 万円、宿泊数: 175 千人? 210 千人

宿泊者のリピーター率: 10% 増、滞在プログラム参加者数: 673 人? 860 人、滞在プログラム満足度: 10% 増

(夕日ヶ浦滞在促進地区) 来訪者満足度: 10% 増、来訪者旅行消費額: 164,000 万円? 196,800 万円、宿泊数: 116 千人? 140 千人

宿泊者のリピーター率: 10% 増、滞在プログラム参加者数: 2,102 人? 2,690 人、滞在プログラム満足度: 10% 増

【観光地域づくりプラットフォーム】公益社団法人 京都府観光連盟

【国の支援及び特例内容】

認定観光圏案内所、
旅行業法特例、道路運送法特例

主たる滞在促進地区の取組

- ・広域観光魅力創造事業(H26-30)
- ・観光案内、観光情報の提供事業(H26-30)
- ・宿泊施設改良、来訪者応対向上(H26-28)
- ・高速道路、京都舞鶴港からのアクセス整備(H26-30)
- ・食、関係支援事業(H26-30)等

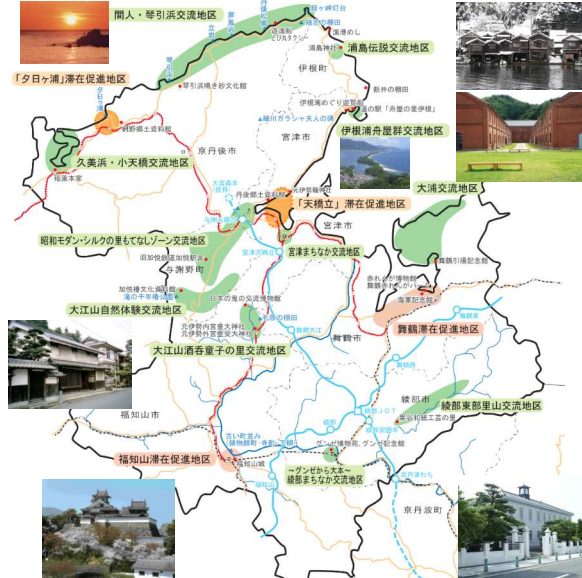


主たる滞在促進地区を起点とした滞在プログラムの取組

- ジオパークに代表される自然資源や、タニハの伝説、豊受神話の舞台となった天橋立と古代のものづくりの道跡が集積している夕日ヶ浦の2地区を中心とした歴史ロマンを体感する滞在プログラムを提供します。
- ・日本最古! 天橋立パワースポットめぐり
 - ・天橋立三所詣と二大展望所めぐり
 - ・山陰海岸ジオパーククルージング体験
 - ・山陰海岸ジオパークウォーキング体験等

滞在交流型観光の取組

- 地域の誇りとなる地域資源を見出し、地域資源を活用した「住んでよし」を実践するため、将来的に円滑かつ持続的、かつ自立的に取り組めるよう、専門家の助言も得つつ、地域資源再発掘、住民参画、滞在コンテンツの造成等のノウハウ伝授と実践に取り組む



交流地区の取組

- 舞鶴滞在促進地区
港を中心とした赤れんが倉庫等の資源を活かした滞在プログラム等の企画、造成、販売、人材育成、プロモーション
- 福知山滞在促進地区
福知山城を起点とした城下町の散策やスイーツの食べ歩きなど、滞在プログラムの造成
- 伊根浦舟屋群地区
舟屋やその他の観光資源の掘り起こし、滞在プログラムの造成、観光人材の育成
- 昭和モダン・シルクの里もてなしゾーン地区
ちりめん街道を中心とした地域資源の再認識及び掘り起こし、滞在コンテンツの造成
- 綾部まちなか地区
近代化遺産として認定されたグンゼ博物館を中心としたまちなか滞在プログラムの造成
- その他の地区
大浦地区(農・漁業)、宮津まちなか地区(城下町)、龍人・琴引浜地区(ジオパーク)、久美浜・小天橋地区(城下町)、消島伝説地区(伝承)、大江山自然体験地区(大江山連峰)、大江山酒呑童子の里地区(鬼伝説)、綾部東部里山地区(水・源・里山)

住民に対する意識啓発取組

- ・地域住民セミナー＆ワークショップ
- ・地域情報コンサルジェン創設等

ワンストップ窓口機能取組

- ワンストップ窓口として観光案内所の整備・充実
- 窓口: 天橋立観光協会/KTR天橋立駅構内、京丹後市観光協会/KTR網野駅構内、舞鶴観光協会/舞鶴赤れんがパーク内

「海の京都博」

期 間: 平成 27 年 7 月 18 日(土) ~ 11 月 15 日(日)

目 的: 「海の京都」全体コンセプトに基づいた「観光まちづくり」の成果を発信。認知拡大や観光誘客を促進し、全国有数の観光圏をめざす。

- 主な事業:
- ・開会式典
 - ・福知山スイーツフェスティバル 2015 (福知山市)
 - ・まいづるまち博 (舞鶴市)
 - ・綾のまちづくりフェス (綾部市)
 - ・海のみやこの物語 (宮津市)
 - ・-UMI x MACHI- 京丹後旅博 (京丹後市)
 - ・ウォーターフロント伊根博覧会 (伊根町)
 - ・ちりめん街道 ゆらり a r t なお宝探し (与謝野町)
 - ・「海の京都ミュージックフェスティバル」等

4 関西広域連合が進める「美の伝説」事業について、京都府においてもビジット K Y O T O 推進事業と連動して事業を実施する予定である。

広域観光周遊ルート形成促進事業「美の伝説」

「美の伝説」形成計画概要



<p>名称・コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題:「美の伝説」(英訳:THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI) ・副題:「日本の美に出会う 5つの世界遺産と7つの絶景」 ・コンセプト 古くから日本の都として、常に歴史の中心に位置し、日本の歴史を盛り上げてきた関西。1400年の悠久の時を越え、いにしえの歴史と文化・自然が織り成す魅力、非日常との出会い、5つの世界遺産をはじめとする歴史遺産や、信仰、神話、伝説の生まれた聖地を通り、日本の伝統美や自然美、精神文化、生活文化の美意識にふれる旅。まさに日本の真髄にふれる、それが「美の伝説」(英訳:THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI)である。 ・主な対象市場・ターゲット:東アジア、東南アジア市場及び欧米系のリピーター市場 	<p>対象地域の地図</p> <p>広域観光拠点地区 主要広域観光ルート</p> <p>広域観光促進地域 主要ゲートウェイ施設</p>
<p>申請者(事業実施体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者:関西広域連合 広域連合会長 井戸 敏三、関西経済連合会 会長 森 祥介、関西地域振興財団 常務理事・事務局長 安竹 泰之 ・事務局:関西地域振興財団 ・構成員:関西広域連合、奈良県、福井県、関西経済連合会、歴史街道推進協議会、日本旅行業協会関西支部、関西鉄道協会、JR西日本、近畿バス団体協議会、新関西国際空港、関西地域振興財団 	
<p>目標設定・成果把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の設定:関西への訪日外国人訪問率 39% (関西の共通目標(2020年) 40%) 関西への訪日外国人旅行者数 740万人 (800万人) 関西での外国人延べ宿泊者数 1,820万人 (2,000万人) 関西での訪日外国人旅行消費額 約9,500億円 (約1兆円) ・成果把握の方法:観光庁等の統計調査により、通知目標の達成度及び成果を把握する。 	
<p>事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域で取り組む主な事業 (1)事業計画策定・マーケティング <ul style="list-style-type: none"> ●関西での訪日外国人旅行者の動向調査の実施 (2)乗入環境整備・交通アクセスの円滑化 <ul style="list-style-type: none"> ●関西域における交通事業者連携による統一交通バス「KANSAI One Pass(仮称)」の導入の検討 (3)滞在コンテンツの充実 <ul style="list-style-type: none"> ●免税店拡大促進事業 (4)対象市場に向けた情報発信・プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ●2019年ラグビーW杯、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスターズゲームズ2021開催と連携した効果的な観光プロモーションの実施 (5)その他、本事業の目的を達成するために必要な事業。 <ul style="list-style-type: none"> ●関西で登録の退職業内士のスキルアップ研修 	

(連動する京都府の事業)

ビジット K Y O T O 推進事業費 (㊿ 37,500 千円)

- ・海外プロモーション、アジアからの誘客促進事業
- ・「和婚」による誘客、教育旅行誘致等

【京都府の担当課】

企画理事 (地域構想推進担当)	075-414-4514
環境部 自然環境保全課	075-414-4706
商工労働観光部 観光振興課	075-414-4841
広域観光戦略課	075-414-4837